

1 y を x の式で表し、 y が x の1次関数であるものには○を、1次関数でないものには×をつけなさい。

- (1) 200ページある本を x ページ読んだときの残りが y ページ
- (2) 底辺が x cm, 高さが y cmの三角形の面積が 24cm^2
- (3) 1冊150円のノートを x 冊買ったときの代金 y 円
- (4) 120Lの水が入った水そうから毎分8Lの割合で水をくみ出したときの x 分後の水の量 y L

2 次の⑦～⑩の式の中から、 y が x の1次関数であるものを選びなさい。

⑦ $y=\frac{x}{3}$ ⑧ $y=2x^2+4$ ⑨ $x+y=5$ ⑩ $y=\frac{6}{x}$

3 1次関数 $y=3x-5$ で、 x の値が次のように増加するとき、 x の増加量、 y の増加量、変化の割合を求めよ。

- ① 1から7まで
- ② -5から2まで
- ③ -6から-3まで

4 次の1次関数について、 x の増加量が9であるときの y の増加量を求めよ。

① $y=2x-3$ ② $y=-x+2$ ③ $y=-5x-1$

④ $y=\frac{5}{3}x-5$ ⑤ $y=-\frac{3}{4}x+6$ ⑥ $y=0.4x-1.2$

5 1次関数 $y=\frac{1}{2}x-1$ について、次の問い合わせに答えよ。

- (1) x の値が-3から-1まで増加するとき、 y の増加量を求めよ。

(2) 変化の割合を求めよ。

(3) x の増加量が次のとき、 y の増加量を求めよ。

① 10 ② -8

6 y は x の1次関数で、 x の値に対応する y の値は、表のようになっている。

- (1) 表の⑦、⑩にあてはまる数を求めよ。

(2) この1次関数の変化の割合を求めよ。

(3) x の増加量が-14であるときの y の増加量を求めよ。

x	-4	-2	0	2	4	6
y	18	10	⑦	-6	-14	①